



Ampt StringView® ストリングビュー

Ampt DCオプティマイザからの
高精度かつ同期的データ

- 他社製のモニタリングサービスとの互換性あり
- Modbusプロトコル経由で各ストリングのデータ収集
- 発電所で使用される他の機器と簡単に接続可能
- スマート接続箱と比較して最大90%のコスト削減

利点:

- 可視性 — システム出力を遠隔監視、問題発生時に素早く対応可能
- コミッショニングを迅速に — 電気接続を検証してトラブル解決のためにデータにアクセス
- 同期性 — 全ての最適化からの測定値を時系列で整理し、データとイベントの相関性を示します
- 精度 — 出力の測定値精度は +/- 0.25%
- 互換性 — Modbus経由で他社SCADAゲートウェイにスムーズにリンク
- 最大出力のために — 汚れ、劣化、接続のゆるみやその他の目につきにくい原因からの損失を回避
- 簡単マッピング — データをサイトのレイアウトに合わせます。

特長:

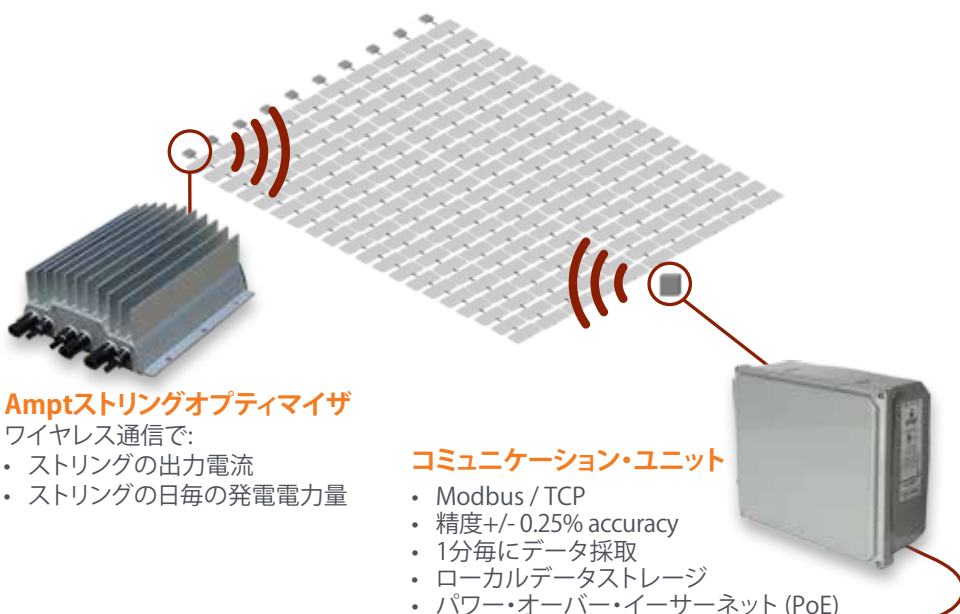
- Modbus対応 — SunSpecフォーマットでデータを提供
- インストール・ウィザード — Ampt最適化をそれぞれのストリングと組み合わせ、データポイント数を定義
- 設定 — 個々のストリングから収集したデータは利用者によって集約できる
- コミッショニング・ツール — データを利用して太陽光発電所内の電気接続のトラブルを素早く解決

結果:

- O&Mコスト削減
- システムのコミッショニングが短時間で完了
- より正確で信頼できる測定値
- 低リスクで優れた予測性
- 対策のための豊富な判断材料

Amptストリング最適化は、電気系のBOSシステムを半減し、インバーターのワット当たりの価格を下げることで太陽光発電所の総コストを下げる事が可能です。ストリング最適化はまた、発電所稼働期間を通して発電量を上げるため、ダブルMPPトラッカーをストリング毎に取り付けます。これらの動作は通信を必要としません。

StringView®(ストリングビュー)は各ストリングからのデータを活用し、コミッショニングの確認とO&M能力を強化するオプションです。ストリング最適化は双方向のワイヤレス通信でストリングの出力電流と日毎の発電電力量をAmptコミュニケーションユニット(CU)に送信します。Ampt-CUはModbus/TCPを経由してお客様のSCADAまたはデータモニタリングシステムにデータを送ります。そのため、現地でも遠隔操作センターでも第三者によるモニタリングサービスでもデータを監視することが可能です。



Amptストリング最適化ワイヤレス通信で:

- ストリングの出力電流
- ストリングの日毎の発電電力量

コミュニケーション・ユニット

- Modbus / TCP
- 精度 +/- 0.25% accuracy
- 1分毎にデータ採取
- ローカルデータストレージ
- パワー・オーバー・イーサーネット (PoE)

